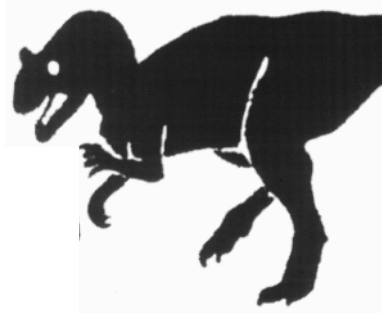


地質時代の栃木

栃木県立博物館 ワークシート

てんじしつ けんがくび ねん がつ にち なまえ
展示室 1 見学日 年 月 日 名前 ()

1 アロサウルスの模型をみて、下の図にしっぽを書きいれましょう。



これまでの研究から、現在、アロサウルスは上のイラストのような姿勢だったと考えられていますが、かつては、左のイラストのような姿勢だったと考えられていました。(この姿勢を“ゴジラ型”とよびます。)

どちらの姿勢がすばやく動けそうでしょうか？

博物館では、研究の結果いろいろ分かってきたこともみなさんに知ってもらうために、2体のアロサウルスを並べて展示してあります。

2 栃木県では、1978年、烏山線の大金駅付近で、写真のような化石が発見されました。この化石は、何とよばれていますか。



()

3 この化石が発見されたことで、大昔この場所は、どんなところだったことがわかりますか。

やま

うみ

かわ

4 那須塩原市にある「塩原湖成層」とよばれる地層からは、全国でもめずらしい下の写真のような化石が発見されています。この植物の化石が入っている石の名前を答えましょう。



()

5 今から数万～数十万年前には、栃木県にも、今の日本では見られないような大型の動物が暮らしていました。足尾山地南部の葛生付近では、そのような動物の化石が多数見つっています。次のような特ちょうをもつ写真の動物の名前を答えましょう。

なが長いキバをもち、化石には残っていませんが、なが長い鼻がありました。

[]



おお大きな体に手のひらを広げたような立派な角をもっていました。

[]

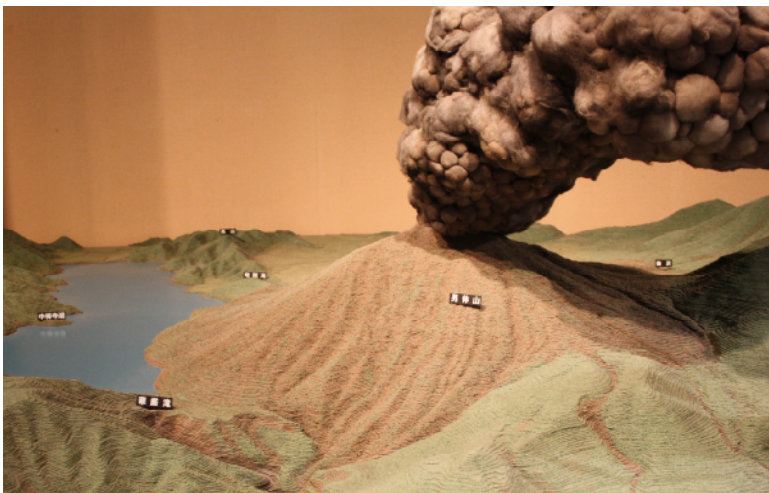


あしの指は3本で、鼻の上の先のとがった角がありました。

[]



6 日光市にある男体山は、大昔、噴火によって川をせき止め、湖とそこから流れ出す滝をつくりました。現在有名な観光地になっているその湖と滝の名前を答えましょう。



みずうみ 湖の名前

[]

たき 滝の名前

[]